

4 都区の輸入食品監視結果

食品分類別検査結果及び主な違反の内訳

(平成8年度)

食品分類	検査検体数	違反検体数	違反率 (%)	主 な 違 反 の 内 容					
				品 名	原 産 国	違反条項	違 反 内 容	残品の処置	
魚 介 類	1,408	73	5.2	無頭エビ	中国	7条2項	二酸化硫黄過量残存	残品なし	
冷 凍 食 品	無 加 熱 摂 取	38	—	—					
	凍結前加熱済・加熱後摂取	482	5	1.0	フライドポテト	アメリカ	7条2項	成分規格違反(大腸菌群陽性)	販売禁止
	凍結前未加熱済・加熱後摂取	149	—	—					
生食用冷凍鮮魚介類	15	—	—						
魚 介 類 加 工 品	277	11	4.0	うに(加工品)	中国	4条	ほう酸を検出	販売禁止	
肉・卵類及びその加工品	2,672	1	0.03						
乳 製 品	969	2	0.2	アイスクリーム	アメリカ	7条2項	成分規格違反(大腸菌群陽性)	販売禁止	
乳 類 加 工 品	28	—	—						
アイスクリーム類・氷菓	53	—	—						
穀 類 及 び そ の 加 工 品	1,187	—	—						
野菜類・果実及びその加工品	6,260	19	0.3	バナナ	エクアドル	7条2項	基準を超える農薬(ヒルタノール)検出	残品なし	
菓 子 類	2,048	13	0.6	ビスケット	アメリカ	6条	TBHQ検出	販売禁止	
清 涼 飲 料 水	1,308	1	0.1	スポーツ飲料	アメリカ	7条2項	成分規格違反(沈殿物)	販売禁止	
酒 精 飲 料	382	2	0.5	リキュール	オランダ	6条	アゾルビン検出	販売禁止	
氷	—	—	—						
水	—	—	—						
缶 詰 ・ び ん 詰	495	2	0.4	ココナツクリーム	タイ	6条	ポリソルベート検出	販売禁止	
調 味 料	1,135	8	0.7	たれ	インドネシア	7条2項	安息香酸の対象外使用	回収命令	
そう菜類及びその加工品	385	1	0.3						
上 記 以 外 の 食 品	787	1	0.1						
添 加 物	化学的合成品及びその製剤	23	—	—					
	そ の 他 の 添 加 物	89	—	—					
器 具 及 び 容 器 包 装	358	—	—						
お も ち ゃ	168	—	—						
合 計	20,716	139	0.7						

## 第 7 節 牛 乳 衛 生

### 1 生乳の使用量と牛乳等の製造量

都内には、島しょ地域を含め13の乳処理場がある。乳処理場や乳製品製造工場で処理される生乳量は表1のとおりである。これらの生乳については、細菌数が400万/mlを超える規格外生乳及び抗菌性物質陽性の生乳並びに生乳の成分の規格には定められていないが、無脂乳固形分8%未満及び乳脂肪分3%未満の生乳は使用しないよう指導している。

都内の牛乳等の生産量及び消費量については表2、表3のとおりである。

表1 生乳処理の推移

単位 / kl

年 度	4	5	6	7	8
生 乳 処 理 量	255,938	246,686	256,024	255,665	242,736

表2 牛乳等の生産量（平成8年度）

単位 / kl

種 類 別	牛 乳	加 工 乳	乳 飲 料	は っ 酵 乳	乳 酸 菌 飲 料
生 産 量	175,572	37,956	106,839	8,780	5,107

表3 牛乳と加工乳の消費量の推移

単位 / kl

年 度	4	5	6	7	8
消 費 総 量	520,620	499,825	514,725	549,463	521,142
牛 乳	460,513	442,461	454,611	475,953	456,031
内					
都内処理量	123,567	122,035	128,884	130,025	130,253
訳					
移入量	336,946	320,426	325,727	345,928	325,779
加 工 乳	60,107	57,364	60,114	73,510	65,111
内					
都内処理量	29,273	32,066	34,387	34,061	29,232
訳					
移入量	30,834	25,298	25,727	39,449	35,879

### 2 食品環境指導センター牛乳検査係

食品環境指導センター牛乳検査係では、特別区内の3工場と多摩地区の11工場の乳処理工場等について、生乳及び製品の検査並びに監視指導を行っている。

平成8年度における検査の概要は表4のとおりである。

### 3 牛乳類の残留農薬の推移

牛乳中の有機塩素系農薬暫定許容基準が、昭和46年に定められ、これに基づいて牛乳及び生乳の検査を実施している。

平成4年～平成8年度の推移は表5-1～表5-3のとおりである。

#### 4 乳及び輸入原材料等の放射能

食品中の放射能濃度の暫定限度が昭和61年に定められ、これに基づいて、生乳等の実施している。

平成4年～平成8年度の推移は、表6のとおりである。

表4 入る

表4 平成8年度食品環境指導センター牛乳検査係検査実績

平成8年度	総数		成分		規格外 検体数	規格検査								
	検体数	検査数	検体数	検査数		検査数の内訳								
						比重	酸度	乳脂 肪分	無脂乳 固形分	細菌数	大腸 菌群	乳酸 菌数	抗菌性 物質	
合計	13,361	88,408	5,731	58,116	0	3,798	8,286	7,722	7,596	10,902	11,648	1,120	3,802	
生乳	生産者乳	2,619	36,986	2,599	28,589	-	2,599	5,198	5,198	5,198	5,198	-	-	2,599
	貯乳槽乳	220	3,090	220	2,420	-	220	440	440	440	440	-	-	220
	小計	2,839	40,076	2,819	31,009	-	2,819	5,638	5,638	5,638	5,638	-	-	2,819
製品	牛乳	3,329	20,126	1,041	13,305	-	759	2,082	1,518	1,518	2,082	4,164	-	759
	部分脱脂乳	294	1,614	72	1,008	-	72	144	144	144	144	288	-	72
	加工乳FAT 3%以上	260	1,430	65	910	-	65	130	130	130	130	260	-	65
	加工乳FAT 3%未満	332	1,826	83	1,162	-	83	166	166	166	166	332	-	83
	クリーム	252	1,134	63	630	-	-	126	126	-	126	252	-	-
	乳飲料	2,052	7,198	505	3,030	-	-	-	-	-	1,010	2,020	-	-
	アイスクリーム類	141	482	47	282	-	-	-	-	-	94	188	-	-
	チーズ	15	90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	脱脂粉乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整粉乳	12	44	4	28	-	-	-	-	-	8	16	-	4
	発酵乳	274	1,644	137	1,096	-	-	-	-	-	-	548	548	-
	乳製品乳酸菌飲料	228	912	57	456	-	-	-	-	-	-	228	228	-
	乳主原乳酸菌飲料	344	1,376	86	688	-	-	-	-	-	-	344	344	-
	その他の乳主原	604	2,118	151	906	-	-	-	-	-	302	604	-	-
	氷菓	57	190	19	114	-	-	-	-	-	38	76	-	-
清涼飲料水	2,004	7,014	501	3,006	-	-	-	-	-	1,002	2,004	-	-	
菓子類	312	1,092	78	468	-	-	-	-	-	156	312	-	-	
野菜加工品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	12	42	3	18	-	-	-	-	-	6	12	-	-	
小計	10,522	48,332	2,912	27,107	0	979	2,648	2,084	1,958	5,264	11,648	1,120	983	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(平成8年度)

	特 殊 検 査						そ の 他 の 検 査							
	大腸菌群増菌検査			保 存 検 査			過酸化水素	残 留 農 薬		調 査 ・ 研 究		そ の 他		
ア ル コ ー ル テ ス ト	検体数	検査数	陽 性 検査数	検体数	検査数	要注意 検体数	検体数	検査数	検体数	検査数	検体数	検査数	検体数	検査数
3,242	4,704	9,432	6	2,419	9,680	5	131	262	31	403	1,140	6,840	3,022	3,675
2,599	-	-	-	-	-	-	-	-	20	260	923	5,538	2,599	2,599
220	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75	450	220	220
2,819	-	-	-	-	-	-	-	-	20	260	998	5,988	2,819	2,819
423	1,236	2,480	2	618	2,476	-	131	262	11	143	124	744	168	716
-	144	288	-	72	288	5	-	-	-	-	3	18	3	12
-	130	260	-	65	260	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	166	332	-	83	332	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	126	252	-	63	252	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1,010	2,020	-	505	2,020	-	-	-	-	-	-	-	32	128
-	94	200	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	90	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	8	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	137	548	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	114	228	-	57	228	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	172	344	-	86	344	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	302	608	1	151	604	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	38	76	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1,002	2,004	-	501	2,004	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	156	312	-	78	312	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	6	12	-	3	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
423	4,704	9,432	6	2,419	9,680	5	131	262	11	143	142	852	203	856
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表5-1 有機塩素系農薬の推移 ( $\beta$ -BHC)

単位 / ppm

年 度		4	5	6	7	8
牛乳等	最頻値	ND	ND	ND	ND	ND
	範囲 検体数	ND~0.001 30	ND~tr 30	ND 28	ND 34	ND 21
生乳	最頻値	ND	ND	ND	ND	ND
	範囲 検体数	ND~tr 30	ND~tr 30	ND 32	ND~0.001 25	ND 30

表5-2 有機塩素系農薬の推移 (DDT)

単位 / ppm

年 度		4	5	6	7	8
牛乳等	最頻値	tr	tr	ND	ND	ND
	範囲 検体数	ND~tr 30	ND~0.001 30	ND~0.001 28	ND~0.001 34	ND 21
生乳	最頻値	ND	ND・tr	ND	ND	ND
	範囲 検体数	ND~0.001 30	ND~0.002 30	ND 32	ND~0.001 25	ND~0.001 30

表5-3 有機塩素系農薬の推移 (ディルドリン、アルドリン)

単位 / ppm

年 度		4	5	6	7	8
牛乳等	最頻値	ND	ND	ND	ND	ND
	範囲 検体数	ND~tr 30	ND~tr 30	ND 28	ND 34	ND 21
生乳	最頻値	ND	ND	ND	ND	ND
	範囲 検体数	ND~tr 30	ND~tr 30	ND 32	ND 25	ND 30

(注) ND: 検出限界未満 tr: 痕跡 (平成6年度からtrは記載しないこととした。)

(参考) 暫定許容基準

 $\beta$ -BHC

全乳中0.2 ppm

DDT

全乳中0.05 ppm

ディルドリン (アルドリンを含む)

全乳中0.005 ppm

表6 放射能検査状況

年 度	4	5	6	7	8
乳・乳製品類 検体数	18	12	15	10	11
その他の食品 検体数	2	9	6	12	9

いずれの年度においてもセシウム 134及びセシウム 137の合計は50Bq / kg以下であった。

(参考)

暫定限度 セシウム 134及びセシウム 137の放射能濃度 370Bq / kg

## 第 8 節 食肉・水産食品衛生

### 1 と畜場及び食肉衛生検査所

食肉衛生検査所は、昭和32年に設置され、現在、芝浦及び多摩の2食肉衛生検査所があり、多摩食肉検査所は1出張所を設け、両検査所で都内9と畜場（うち、島しょ5施設）を所管している。

ここでは、と畜検査員が食用を目的に搬入される獣畜について、1頭1頭生体検査及び解体検査を実施し、さらに必要に応じて精密検査を行って、と畜場法に基づく食用適否の判定をし、安全な食肉の供給に努めている。また、と畜場施設の衛生保持、食品衛生法に基づく移入枝肉の検査やと畜場内での食肉の取扱い、食品営業施設、食肉輸送車等の監視・指導を行っている。

なお、島しょにおいては、大島、新島、三宅島、八丈島、小笠原父島の各島に5と畜場があり、島しょ保健所の食品衛生監視員が芝浦食肉衛生検査所のと畜検査員を兼務して、同様の業務を行っている。

平成8年度におけると畜検査頭数は表1のとおりで、これらのうち検査の結果、異常を認め処分した頭数は表2のとおりである。

### 2 市場衛生検査所

市場衛生検査所は昭和29年に設置され、現在は築地市場内の本所の他に14出張所（23区内に8カ所、多摩地区に6カ所）を設け、中央卸売市場（10市場3分場）、地方卸売市場（10市場）等を対象にして、常時入荷する生鮮食品はもとより、種々の食品の検査及びせり売営業をはじめとする市場内のすべての業態について監視・指導を行っている。平成8年度における業務の概要は表3、表4のとおりである。

### 3 ふ ぐ

ふぐの取扱いについては、全国の都道府県に先がけて、昭和24年に「ふぐ取扱業等取締条例」を制定して、ふぐ調理師試験による免許制度及び認証制度を定めて指導・取締まりを行っている。

昭和61年3月、ふぐ加工品流通の広域化や流通形態の多様化に対応するため、従来の免許制度及び認証制度を維持しつつ、「ふぐ取扱業等取締条例」を全面改正し、新たに「東京都ふぐの取扱い規制条例」（昭和61年7月1日施行）として施行した。

平成8年度のふぐ調理師試験及び免許証の交付状況等は下記のとおりである。

試 験 日 時	学科試験 8月17日
実 技 試 験	8月19日から同月23日まで
試 験 会 場	学校法人 後藤学園
受験申込み者数	984名
合 格 者 数	503名
合 格 率	51%
免許証交付件数	496（条例制定以来の免許証交付数 12,442件）

表1 と畜検査頭数の推移及び平成8年度と畜場別と畜検査頭数

畜種		総数	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊	
平成4年度		567,766	108,943	87	426	458,221	31	58	
5		576,183	112,005	111	104	463,899	19	45	
6		544,704	113,403	84	174	430,963	15	60	
7		504,212	109,322	76	196	394,558	18	42	
8		463,643	102,856	68	116	360,552	17	34	
平成8年度と畜場別内訳	芝	合計	350,352	87,858	26	11	262,423	-	34
		小計	350,045	87,839	25	-	262,181	-	-
		芝浦	350,045	87,839	25	-	262,181	-	-
		三河島	0	-	-	-	-	-	-
	浦	小計	307	19	1	11	242	-	34
		大島	137	7	1	10	119	-	-
		新島	0	-	-	-	-	-	-
		三宅島	119	-	-	-	119	-	-
		八丈島	51	12	-	1	4	-	34
		小笠原	0	-	-	-	-	-	-
	多摩	合計	113,291	14,998	42	105	98,129	17	-
		立川	104,959	14,152	1	103	90,686	17	-
		八王子	8,332	846	41	2	7,443	-	-



表2 平成8年度と畜検査数及び分類数

(平成8年度)

畜種	と畜場内数	処分内容	処分実頭数	疾病別頭数																							合計		
				細菌病								ウイルス・カビ病		原虫病		寄生虫等			その他の疾病										
				炭疽	豚丹毒	サルモネラ病	結核病	ブルセラ病	破傷風	放線菌病	その他	豚コレラ	その他	トキソプラズマ病	その他	のう虫病	ジストマ病	その他	膿毒症	敗血症	尿毒症	黄疸	水腫	腫瘍	中毒諸症	産物による汚染炎症又は炎症		変性又は萎縮	その他
牛	102,856	と殺禁止	-	-	...	-	-	-	...	-	...	-	-	-	...	-	-	-	-	-	-	-	-	...	...	-	0		
		全部廃棄	256	-	...	-	-	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-	69	30	4	21	129	2	-	-	-	1	256	
		一部廃棄	52,232	...	...	...	-	-	...	339	-	...	-	-	-	746	265	...	...	...	-	1,119	6	...	42,702	24,683	232	70,092	
とく	116	と殺禁止	-	-	...	-	-	-	...	-	...	-	-	-	...	-	-	-	-	-	-	-	-	...	...	-	0		
		全部廃棄	6	-	...	-	-	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	6		
		一部廃棄	75	...	...	...	-	-	...	-	-	...	-	-	-	-	...	...	...	-	1	-	...	75	3	-	79		
馬	68	と殺禁止	-	-	...	-	-	-	...	-	...	-	-	-	...	-	-	-	-	-	-	-	-	...	...	-	0		
		全部廃棄	-	-	...	-	-	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
		一部廃棄	29	...	...	...	-	-	...	-	-	...	-	-	-	3	...	...	...	-	-	-	...	16	3	14	36		
豚	360,552	と殺禁止	9	-	9	-	-	-	...	-	...	-	-	-	...	-	-	-	-	-	-	-	-	...	...	-	9		
		全部廃棄	605	-	121	-	-	-	-	-	-	...	-	-	-	-	269	131	1	3	77	2	-	-	-	1	605		
		一部廃棄	244,907	...	...	...	-	-	...	-	1	...	-	-	-	65	...	...	...	-	298	2	...	241,599	8,770	2,127	252,862		
めん羊	17	と殺禁止	-	-	...	-	-	-	...	-	...	-	-	-	...	-	-	-	-	-	-	-	-	...	...	-	0		
		全部廃棄	-	-	...	-	-	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
		一部廃棄	6	...	...	...	-	-	...	-	-	...	-	-	-	...	...	...	-	-	-	-	...	6	-	-	6		
山羊	34	と殺禁止	-	-	...	-	-	-	...	-	...	-	-	-	...	-	-	-	-	-	-	-	-	...	...	-	0		
		全部廃棄	-	-	...	-	-	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
		一部廃棄	1	...	...	...	-	-	...	-	-	...	-	-	-	-	...	...	...	-	-	-	...	1	-	-	1		
合計	463,643	と殺禁止	9	-	9	-	-	-	...	-	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9		
		全部廃棄	967	-	121	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	340	161	5	24	210	4	-	-	-	2	867		
		一部廃棄	297,250	...	...	...	-	-	...	339	1	...	-	-	-	746	333	...	...	...	-	1,418	8	...	284,399	33,459	2,373	323,076	

表3 市場衛生検査所・事業別実績

区 分	市 場 内 監 視 指 導		食 品 等 の 検 査 成 績 及 び 措 置				
	対 象 業 態 数	監 視 指 導 件 数	検 査 検 体 数	不 良 検 体 数	行 政 処 分	販 売 禁 止 及 び 命 令 廃 棄	
						件 数	重 量 (kg)
合 計	3,399	234,104	12,130	776	5	5	133.5
築 地	1,680	100,545	4,411	496	3	3	92.0
大 田	543	21,246	1,363	10	—	—	—
葛 西	53	4,912	251	8	1	1	11.7
豊 島	65	7,537	263	1	—	—	—
足 立	218	12,422	623	79	1	1	29.8
淀 橋	54	4,142	294	20	—	—	—
世 田 谷	49	4,180	714	27	—	—	—
板 橋	38	3,459	362	5	—	—	—
北 足 立	72	7,085	307	12	—	—	—
府 中	161	13,177	638	37	—	—	—
武 蔵 調 布	141	10,545	767	4	—	—	—
昭 島	127	11,141	482	2	—	—	—
東 久 留 米	97	13,289	605	—	—	—	—
八 王 子	80	16,311	703	70	—	—	—
多 摩 ニ ュ ー ク ャ ン	21	4,113	347	5	—	—	—

(平成8年度)

措置数	検査		衛生教育		食中毒関連調査	苦情・相談	表示違反(件)	
	検査件数	内 訳		回数				人員
		理化学的試験	生物学的試験					
767	92,513	41,480	51,033	276	8,752	39	66	419
498	27,135	9,931	17,204	82	3,944	28	5	201
7	14,712	9,280	5,432	58	1,032	2	11	35
6	2,078	1,420	658	7	342	—	19	16
2	2,043	1,372	671	6	37	—	4	10
71	6,669	1,558	5,111	22	397	3	—	9
20	3,233	2,188	1,045	8	136	—	1	1
27	3,389	2,366	1,023	10	545	1	9	5
6	2,050	1,384	666	25	343	—	5	24
12	3,435	2,268	1,167	16	324	1	—	12
37	5,529	1,678	3,851	12	222	—	8	34
4	3,396	1,112	2,284	2	48	1	—	25
2	4,544	1,380	3,164	9	422	2	1	—
0	5,913	1,332	4,581	3	55	—	—	—
70	5,724	2,545	3,179	6	835	1	1	47
5	2,663	1,666	997	10	70	—	2	—

表4 検査対象品目別検査数

(平成8年度)

検査対象		総 数	魚 介 類	魚 介 類 加 工 品	乳肉製品	青 果 物	そ の 他	
検査項目等								
検 体 数		12,130	3,800	2,325	305	3,136	2,564	
検 査 件 数		92,513	23,140	17,355	1,063	28,184	22,771	
生 物 学 的 検 査	生 菌 数	7,015	2,419	1,323	76	861	2,336	
	大 腸 菌 群	7,273	2,411	1,323	108	915	2,516	
	大 腸 菌	6,630	2,259	1,232	108	791	2,240	
	ブドウ球菌	6,582	2,259	1,232	76	755	2,260	
	腸炎ビブリオ	4,392	2,258	849	23	205	1,057	
	サルモネラ	6,786	2,259	1,232	426	750	2,119	
	T.T.C.テスト	387	387	—	—	—	—	
	セレウス菌	5,032	1,235	1,057	67	602	2,071	
	NAGビブリオ	2,583	1,564	510	2	107	400	
	寄生虫・寄生虫卵	241	90	—	—	151	—	
	そ の 他	4,112	2,462	595	9	207	839	
	小 計		51,033	19,603	9,353	895	5,344	15,838
理 化 学 的 検 査	保 存 料	15,050	1,012	4,036	89	5,892	4,021	
	殺 菌 料	825	9	768	—	44	4	
	漂 白 剤	1,869	55	310	3	1,260	241	
	着 色 料	2,759	4	802	16	1,302	635	
	甘 味 料	6,803	3	1,607	51	3,186	1,956	
	発 色 剤	304	5	286	9	—	4	
	リ ン 酸	893	—	—	—	893	—	
	防 カ ビ 剤	540	—	—	—	540	—	
	残 留 農 薬	7,902	240	—	—	7,662	—	
	P C B	180	180	—	—	—	—	
	重 金 属	水 銀	590	590	—	—	—	—
		そ の 他	286	—	—	—	286	—
	放 射 能	240	114	6	—	120	—	
	硝 酸 ・ 亜 硝 酸	128	—	—	—	128	—	
	そ の 他	3,111	1,325	187	—	1,527	72	
小 計		41,480	3,537	8,002	168	22,840	6,933	

表5 検査対象品目別、検査の結果に基づく行政処分及び措置

(平成8年度)

検査項目等		検査対象		魚介類 加工品	魚介類	乳肉製品	青果物	その他
		総数	魚介類					
検査	検体数	12,130	3,800	2,325	305	3,136	2,564	
	検査件数	92,513	23,140	17,355	1,063	28,184	22,771	
	不良検体数	776	334	132	1	81	228	
行政処分 件数	営業禁停止	—	—	—	—	—	—	
	販売禁停止	5	1	3	—	1	—	
	廃棄	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	
廃棄 数量	命令に基づく廃棄	—	—	—	—	—	—	
	命令廃棄数量(kg)	—	—	—	—	—	—	
	任意廃棄	2	—	2	—	—	—	
	任意廃棄数量(kg)	58.9	27.3	4.88	—	3.2	18	
措置 件数	転用	—	—	—	—	—	—	
	任意・指導	725	326	111	1	71	216	
	始末書	1	1	—	—	—	—	
	返品	4	1	1	—	2	—	
	違反通報等	37	8	10	—	7	12	

#### 4 食鳥検査

平成3年度、「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」が施行され、4年度から食鳥検査が開始された。これまで、と畜場法の対象外であった食鳥処理場について、新たな規制対象事業として衛生上必要な規制を行い、食鳥検査制度を設けることにより、食鳥肉等に起因する危害発生を防止することを目的としたものである。

現在、都においては公的検査対象施設（年間処理羽数が30万羽を超える処理場）はないが、認定小規模食鳥処理場（同30万羽以下）が82施設あり、年間約62万羽の食鳥が処理されている。

これらの処理場には、一定の資格を有する食鳥処理衛生管理者が配置され、法の基準に基づく食鳥の異常の有無の確認と異常のある食鳥肉の排除及び食鳥処理等の衛生管理を行っている。食鳥処理衛生管理者による異常食鳥肉の排除等が適正に実施されるよう、保健所の食鳥検査員が各処理場に立ち入り、監視指導並びに必要な技術的助言を行っている。

また、食鳥肉の安全を確認する目的で、抗菌性物質や農薬の残留等について収去検査を実施している。

平成8年度食鳥処理羽数等は表1のとおり、食鳥処理場数は表2のとおり、食鳥肉の収去検査実績は表3のとおりである。

表1 食鳥の処理羽数及び廃棄状況

（平成8年度）

処 理 羽 数		622,572	
基 準 適 合 羽 数		621,548	
基 準 不 適 合 羽 数 (廃棄羽数の合計)	全 部 廃 棄	211	
	一 部 廃 棄	813	
	小 計	1,024	
	( 廃 棄 率 )	0.16%	
基 準 不 適 合 理 由 内 訳	生 体 の 基 準	廃 棄	54
	体 表 の 基 準	全 部 廃 棄	117
		一 部 廃 棄	15
	体 壁 内 側 の 基 準	廃 棄	40
	内 臓 の 基 準	当 該 臓 器 廃 棄	603
		内 臓 全 部 廃 棄	195

表2 保健所別食鳥処理場施設数等

(平成8年度末)

保健所名	施設数	食鳥処理衛生管理者数	届出食肉販売業者数
青 梅	5	5	—
福 生	2	2	1
五 日 市	1	2	—
八 王 子	4	4	—
日 野	4	4	—
多 摩	3	3	1
町 田	3	3	—
府 中	11	19	6
武 蔵 調 布	7	8	—
小 金 井	1	1	—
立 川	9	11	2
武 蔵 野	3	5	1
三 鷹	5	9	1
田 無	7	8	—
東 久 留 米	4	6	1
小 平	8	10	—
東 村 山	2	3	—
島 し よ	3	4	—
計	82	107	13

(参考)

特 別 区	583	788	59
-------	-----	-----	----

表3 食鳥肉の収去検査実績

(平成8年度)

	細 菌	抗 菌 性 物 質	農 薬	内 寄 生 虫 用 剤
検 体 数	181	335	42	26
検 査 項 目 数	975	3,073	294	26

## 第 9 節 食 品 汚 染 対 策

魚介類の水銀、ビストリブチルスズキオシド（T B T O）等の環境汚染物質、各種食品の P C B、野菜類の硝酸塩の調査については、前年度に引き続き実施した。結果は次のとおりである。

### 1 魚介類等の水銀汚染調査結果

#### (1) 調査目的

魚介類中に蓄積された有機水銀による健康障害、いわゆる水俣病が明らかなり、大きな社会問題となった。このため国は、昭和48年「魚介類の暫定的規制値について」を定めた。都は、同年から魚介類等の汚染実態を把握し、汚染食品の流通規制を図ってきた。

#### (2) 実施期間

平成 8 年 4 月 1 日から平成 9 年 3 月 31 日まで

#### (3) 実施対象

中央卸売市場に入荷する魚介類及び市販されている各種食品

#### (4) 検査実施機関

ア 衛生研究所 微量分析研究科 有害物化学研究室

イ 市場衛生検査所

#### (5) 調査結果（別表 1）

ア 魚介類等の水銀汚染

#### (7) 調査対象魚介類等の内訳

表 1 (平成 8 年度)

内 訳		魚 種 数	検 体 数
魚 介 類	魚 類 等	110	468
	貝	15	77
	小 計	125	545
そ の 他	魚介類加工品等	—	25
	小 計	—	25
合 計		125	570

#### (1) 検査結果

総水銀については、合計 570検体を調査した結果、最大値1.34ppm、最小値検出限界値未満、平均 0.11ppmであった。また、メチル水銀については、570検体中128検体について調査を行い、その結果は、最大値 1.12ppm、最小値 0.02ppm、平均 0.21ppmであった。

平成 8 年度の調査において、規制対象魚のうち暫定的規制値総水銀0.4ppmを超え、かつメチル水銀0.3ppmを超えた検体は、カマス、クロムツの 2 魚種 4 検体であった。

また、魚肉ねり製品及びその他の魚介類加工品については、特に注目すべき検査結果のものはなかった。



[参 考]

表2 都が行っている自主規制措置

(平成9年7月現在)

魚 種	出 荷 地	措置年月日	備 考
ハ モ	熊 本 県 三 角 町	48. 7. 12	
ス ズ キ	東 京 湾 産	48. 7. 12	50. 9. 3 全長60cm以下解除
ス ズ キ	岩 手 県 陸 前 高 田 市	48. 7. 19	
ス ズ キ	岩 手 県 大 船 渡 市	48. 7. 19	
ス ズ キ	千 葉 県 銚 子 市	49. 3. 12	
ム ツ	長 崎 県 長 崎 市	50. 4. 17	50. 9. 10 尾又長30cm以下解除
ム ツ	静 岡 県 下 田 市	50. 4. 17	51. 5. 14 尾又長30cm以下解除
ム ツ	静 岡 県 東 伊 豆 町	50. 4. 17	51. 5. 14 尾又長30cm以下解除
アカアマダイ	福 岡 県 福 岡 市	50. 4. 17	52. 10. 27 全長40cm以下解除
ユメカサゴ	長 崎 県 長 崎 市	50. 9. 3	54. 9. 10 体長20cm以下解除

## 2 食品等のPCB汚染調査結果

### (1) 調査目的

昭和40年代にカネミ油症事件の原因物質であるPCBが、広く環境を汚染していると同時に食品等も汚染していることが明らかになり、昭和47年に製造が中止された。PCBは、安定性が高く分解されにくい物質であるため、自然界に残留することが懸念された。

このため、国は、昭和47年に「食品中に残留するPCBの規制について」を定めた。

都は、昭和48年度から魚介類、乳製品、食品等の汚染実態を把握し、汚染食品の流通規制を図ってきているところである。

### (2) 実施期間

平成8年4月1日から平成9年3月31日まで

### (3) 実施対象

中央卸売市場に入荷する魚介類、各種市販食品及び容器包装

### (4) 検査実施機関

ア 衛生研究所 微量分析研究科 有害物化学研究室

イ 市場衛生検査所

### (5) 調査結果(別表2)

各種食品等のPCB検査結果は次表のとおりであるが、暫定的規制値を超えたものはなかった。

表 3

品 目		規 制 値 (ppm)	検 体 数	検 出 値 (ppm)		
				最 大	最 小	平 均
魚 介 類	遠洋沖合魚介類	0.5	115	0.16	ND	0.01
	内海内湾魚介類	3.0	295	0.43	ND	0.03
	小 計		410	0.43	ND	0.02
牛 乳		0.1	21	ND	ND	—
乳 製 品	チ ー ズ	1.0	20	ND	ND	—
育 児 用 粉 乳		0.2	10	ND	ND	—
食 肉	牛 肉	0.5	5	ND	ND	—
	豚 肉		5	ND	ND	—
	鶏 肉		8	ND	ND	—
	牛 肝 臓		5	ND	ND	—
	豚 肝 臓		5	ND	ND	—
	鶏 肝 臓		2	ND	ND	—
	小 計		30	ND	ND	—
卵 類		0.2	21	ND	ND	—
器具・容器包装		5.0	20	ND	ND	—
そ の 他	魚介類加工品等		40	0.63	ND	0.03
	食用油脂類		40	ND	ND	—
	ベビーフード		20	ND	ND	—
合 計			632	0.63	ND	0.02

注) NDは、検出限界値未満(0.01ppm未満)のもの

### 3 魚介類のT B T O等汚染調査の結果

(1) 調査目的

環境汚染物質として注目されているT B T O等の化学物質により魚介類の汚染実態を把握する。

(2) 実施期間

平成8年4月1日から平成9年3月31日まで

(3) 調査対象

中央卸売市場に入荷する魚介類

(4) 検査実施機関

ア 衛生研究所 微量分析研究科 有害物化学研究室

イ 市場衛生検査所

(5) 調査結果（別表3）

合計133魚種355検体について調査を行い、T B T Oの検出範囲は、最大値 0.44ppm、最小値検出限界未満、平均 0.03ppmであった。

昭和60年4月に国が設定したT B T Oの暫定的1日許容摂取量 $1.6\mu\text{g}/\text{kg}/\text{日}$ と国民1人あたりの魚介類摂取量\* から算出した濃度 0.69ppmを指標として、この濃度を超えた検体についてはなかった。

また、トリフェニルスズ化合物（T P T）、クロルデン類及びドリソリン類の調査結果は表4のとおりである。このほか、クロルデン類及びドリソリン類については、ベビーフード20検体も調査したが、すべて検出限界値未満であった。今後とも、魚介類の汚染実態を把握するため、経年的に調査を行っていく。

\* :平成6年国民栄養調査

表4 T P T等の検査状況

		検 体 数	検 出 値 (ppm)		
			最 大	最 小	平 均
T P T		302	0.39	ND	0.03
ク ロ ル デ ン 類	trans-クロルデン	50	0.007	ND	ND
	CIS-クロルデン		0.003	ND	ND
	trans-ノナクロル		0.003	ND	ND
	CIS-ノナクロル		0.001	ND	ND
	オキシクロル		ND	ND	—
ド リ ン 類	アルドリソリン	50	ND	ND	—
	ディルドリソリン		0.016	ND	0.001
	エンドリソリン		ND	ND	—
その他の農薬		20	ND	ND	—

注) NDは、検出限界値未満のもの

別表1-1 魚介類の水銀調査結果

(平成8年度)

番号	種類	総水銀			メチル水銀			出荷地		
		検体数	検出値(ppm)			検体数	検出値(ppm)			
			最大	最小	平均		最大		最小	平均
1	アイナメ	16	0.16	0.04	0.08	—	—	—	千葉、岩手他	
2	アオダイ	4	0.07	0.04	0.06	—	—	—	鹿児島、東京	
3	アオリイカ	4	0.11	0.06	0.09	2	0.04	0.04	0.04	長崎
4	アカガレイ	4	0.03	0.02	0.03	—	—	—	北海道	
5	アカシタビラメ	2	0.03	0.03	0.03	—	—	—	長崎	
6	アカヤガラ	2	0.04	0.04	0.04	—	—	—	宮崎	
7	アトソディックサーモン	1	0.03	0.03	0.03	—	—	—	ノルウェー	
8	アマエビ	2	0.09	0.09	0.09	—	—	—	北海道	
9	アンコウ	1	0.07	0.07	0.07	—	—	—	北海道	
10	イイダコ	4	0.01	0.01	0.01	—	—	—	茨城、兵庫	
11	イサキ	9	0.08	0.03	0.06	—	—	—	長崎、静岡他	
12	イシガレイ	1	0.03	0.03	0.03	—	—	—	千葉	
13	イセエビ	2	0.15	0.15	0.15	2	0.07	0.07	0.07	東京
14	イトヨリダイ	6	0.14	0.07	0.10	2	0.09	0.09	0.09	香港、中国
15	イボダイ	2	0.01	0.01	0.01	—	—	—	神奈川	
16	ウスメバル	6	0.10	0.02	0.05	—	—	—	北海道、青森他	
17	オコゼ	2	0.07	0.07	0.07	—	—	—	長崎	
18	カサゴ	2	0.01	0.01	0.01	—	—	—	静岡	
19	カタクチイワシ	2	0.02	0.02	0.02	—	—	—	千葉	
20	カツオ	8	0.34	0.12	0.24	6	0.22	0.13	0.17	千葉、宮城他
21	カマス	6	0.47	0.12	0.29	4	0.37	0.19	0.28	鹿児島、長崎他
22	カラスガレイ	1	0.01	0.01	0.01	—	—	—	ロシア	
23	カラフトマス	2	0.04	0.04	0.04	—	—	—	青森	
24	カワハギ	2	0.04	0.04	0.04	—	—	—	宮城	
25	カンパチ	6	0.14	0.02	0.09	2	0.08	0.08	0.08	三重、岩手
26	キダイ	2	0.40	0.40	0.40	2	0.31	0.31	0.31	東京
27	キチジ	4	0.16	0.15	0.16	4	0.15	0.12	0.14	北海道
28	キハダマグロ	1	0.10	0.10	0.10	1	0.06	0.06	0.06	福島
29	キングサーモン	1	0.03	0.03	0.03	—	—	—	カナダ	
30	ギンザケ	2	0.08	0.08	0.08	—	—	—	宮城	
31	ギンダラ	2	0.17	0.13	0.15	1	0.15	0.15	0.15	アラスカ
32	ギンボ	2	0.01	0.01	0.01	—	—	—	静岡	
33	キンメダイ	6	0.81	0.64	0.71	6	0.68	0.61	0.65	高知、神奈川
34	クロウシノシタ	2	0.04	0.04	0.04	—	—	—	宮城	
35	クロダイ	2	0.15	0.15	0.15	2	0.11	0.11	0.11	長崎
36	クロマグロ	1	0.77	0.77	0.77	1	0.67	0.67	0.67	ギリシャ
37	クロムツ	26	0.68	0.25	0.49	15	0.60	0.33	0.45	長崎、宮崎
38	ケガニ	2	0.02	0.02	0.02	—	—	—	北海道	
39	ケンサキイカ	2	0.06	0.06	0.06	—	—	—	福岡	
40	コウイカ	2	0.01	0.01	0.01	—	—	—	鹿児島	
41	ゴウシュウマダイ	2	0.32	0.32	0.32	2	0.23	0.23	0.23	ニュージーランド
42	コノシロ	2	ND	ND	—	—	—	—	佐賀、愛知他	
43	サバ	6	0.04	0.03	0.03	—	—	—	佐賀、ノルウェー	
44	サヨリ	2	0.03	0.03	0.03	—	—	—	神奈川	
45	サンマ	4	0.04	0.02	0.03	—	—	—	岩手、北海道	
46	シバエビ	2	0.01	0.01	0.01	—	—	—	佐賀	
47	シマアジ	6	0.17	0.07	0.13	4	0.11	0.09	0.10	香川、三重
48	シマエビ	1	0.22	0.22	0.22	1	0.12	0.12	0.12	北海道
49	シマフグ	2	0.07	0.07	0.07	—	—	—	徳島	
50	ショウサイフグ	4	0.13	0.04	0.09	2	0.09	0.09	0.09	茨城
51	シラウオ	2	ND	ND	—	—	—	—	茨城	
52	シルバー	2	0.05	0.05	0.05	—	—	—	ニュージーランド	

別表1-2 魚介類の水銀調査結果

(平成8年度)

番号	種類	総水銀				メチル水銀				出荷地
		検体数	検出値(ppm)			検体数	検出値(ppm)			
			最大	最小	平均		最大	最小	平均	
53	シロザケ	2	0.01	0.01	0.01	—	—	—	—	北海道、岩手
54	スケトウダラ	2	0.01	0.01	0.01	—	—	—	—	北海道
55	スズキ	53	0.29	0.03	0.11	33	0.12	0.02	0.05	千葉、東京他
56	スルメイカ	8	0.10	0.01	0.04	2	0.04	0.04	0.04	岩手、高知他
57	ソデイカ	2	0.04	0.04	0.04	—	—	—	—	北海道、青森他
58	タカベ	2	0.07	0.07	0.07	—	—	—	—	福岡
59	タチウオ	2	0.07	0.07	0.07	—	—	—	—	和歌山
60	タブガレイ	2	0.07	0.07	0.07	—	—	—	—	オランダ
61	チダイ	6	0.11	0.05	0.07	2	0.07	0.07	0.07	高知、山口他
62	トビウオ	2	0.02	0.02	0.02	—	—	—	—	三重
63	トラフグ	6	0.08	0.05	0.06	—	—	—	—	三重、山口
64	ナマコ	2	ND	ND	—	—	—	—	—	新潟
65	ナメタガレイ	2	0.09	0.09	0.09	—	—	—	—	青森
66	ハタハタ	2	ND	ND	—	—	—	—	—	北海道
67	ハマダイ	3	0.36	0.12	0.20	3	0.34	0.06	0.15	トンガ
68	ハモ	4	0.19	0.14	0.17	2	0.13	0.13	0.13	長崎、福岡
69	ヒラメ	9	0.09	0.02	0.04	—	—	—	—	愛知、メキシコ他
70	ブリ(ワカシ)	2	0.01	0.01	0.01	—	—	—	—	岩手
71	ブリ(イナダ)	2	0.12	0.12	0.12	—	—	—	—	福岡
72	ブリ(ハマチ)	2	0.12	0.11	0.12	2	0.08	0.08	0.08	香川、三重
73	ブリ	3	0.16	0.10	0.13	1	0.10	0.10	0.10	鹿児島、千葉
74	ベニザケ	1	0.01	0.01	0.01	—	—	—	—	アラスカ
75	ハウボウ	8	0.26	0.05	0.13	2	0.24	0.24	0.24	千葉、ニュージーランド
76	ホタルイカ	2	0.01	0.01	0.01	—	—	—	—	富山
77	ホヤ	2	ND	ND	—	—	—	—	—	宮城
78	ボラ	2	ND	ND	—	—	—	—	—	千葉
79	マアナゴ	4	0.05	0.01	0.03	—	—	—	—	長崎、千葉
80	マアジ	8	0.08	0.01	0.04	—	—	—	—	佐賀、静岡他
81	マイワシ	12	0.02	0.01	0.02	—	—	—	—	千葉、石川他
82	マコガレイ	4	0.01	ND	0.01	—	—	—	—	千葉
83	マゴチ	2	0.15	0.15	0.15	2	0.11	0.11	0.11	静岡
84	マサバ	10	0.18	0.02	0.07	2	0.16	0.16	0.16	神奈川、福岡他
85	マダイ	7	0.20	0.07	0.12	2	0.19	0.19	0.19	三重、長崎他
86	マダコ	4	0.03	0.02	0.03	—	—	—	—	神奈川、福島他
87	マダラ	3	0.16	0.03	0.07	1	0.14	0.14	0.14	北海道
88	マナガツオ	2	ND	ND	—	—	—	—	—	インド
89	マハタ	4	0.05	ND	0.03	—	—	—	—	大分
90	マフグ	2	0.06	0.06	0.06	—	—	—	—	青森
91	ミンククジラ	1	ND	ND	—	—	—	—	—	南氷洋
92	メゴチ	4	0.02	0.02	0.02	—	—	—	—	茨城、神奈川
93	メジマグロ	2	0.33	0.13	0.23	2	0.26	0.09	0.18	東京
94	メダイ	2	0.03	0.03	0.03	—	—	—	—	東京
95	メヌケ	2	0.54	0.49	0.52	2	0.41	0.38	0.40	青森、東京
96	メバチマグロ	2	1.34	1.32	1.33	2	1.12	1.07	1.10	宮城、千葉
97	メロ	3	0.25	0.17	0.22	2	0.25	0.25	0.25	チリ
98	モンゴウイカ	2	0.08	0.01	0.05	—	—	—	—	モロッコ
99	ヤナギムシガレイ	2	0.02	0.02	0.02	—	—	—	—	長崎
100	ヤリイカ	6	0.05	0.01	0.03	—	—	—	—	三重、富山他
101	ユメカサゴ	22	0.65	0.16	0.34	3	0.52	0.45	0.49	長崎、愛媛
	小計	432	1.34	ND	0.14	124	1.12	0.02	0.21	

別表 1 - 3 魚介類の水銀調査結果

(平成 8 年度)

番号	種類	総水銀			メチル水銀			出荷地		
		検体数	検出値(ppm)			検体数	検出値(ppm)			
			最大	最小	平均		最大		最小	平均
貝										
1	アサリ	20	0.01	ND	0.01	—	—	—	—	東京、愛知
2	アワビ	4	ND	ND	—	—	—	—	—	岩手、オーストラリア
3	イワガキ	2	0.02	0.02	0.02	—	—	—	—	福岡
4	ウバガイ	2	ND	ND	—	—	—	—	—	福島
5	エゾボラ	2	0.02	0.02	0.02	—	—	—	—	北海道
6	カキ	13	0.01	ND	0.01	—	—	—	—	岩手、三重他
7	サザエ	2	0.01	0.01	0.01	—	—	—	—	静岡
8	シジミ	3	0.01	0.01	0.01	—	—	—	—	愛知
9	タイラギ	4	ND	ND	—	—	—	—	—	韓国
10	トコブシ	3	ND	ND	—	—	—	—	—	三重、宮城
11	トリガイ	2	ND	ND	—	—	—	—	—	三重
12	ナミガイ	2	ND	ND	—	—	—	—	—	愛知
13	バテイラ	2	0.01	0.01	0.01	—	—	—	—	千葉
14	ハマグリ	2	ND	ND	—	—	—	—	—	茨城
15	ホタテガイ	14	0.01	ND	ND	—	—	—	—	岩手、北海道
小計		77	0.02	ND	0.01	—	—	—	—	
淡水魚										
1	アユ	8	0.07	0.03	0.05	—	—	—	—	静岡、和歌山他
2	イワナ	2	0.04	0.04	0.04	—	—	—	—	静岡
3	ウナギ	10	0.10	0.02	0.05	—	—	—	—	愛知、静岡他
4	カワエビ	2	ND	ND	—	—	—	—	—	茨城
5	コイ	2	0.17	0.17	0.17	2	0.16	0.16	0.16	群馬
6	ナマズ	2	0.24	0.24	0.24	2	0.21	0.21	0.21	茨城
7	ニジマス	2	0.04	0.04	0.04	—	—	—	—	長野
8	ヤマメ	6	0.03	0.02	0.02	—	—	—	—	三重、岐阜
9	ワカサギ	2	0.02	0.02	0.02	—	—	—	—	北海道
小計		36	0.24	ND	0.06	4	0.21	0.16	0.19	
魚介加工品等		25	0.54	ND	0.08	—	—	—	—	
総計		570	1.34	ND	0.11	128	1.12	0.02	0.21	

注) : NDは、検出限界値未満(0.01ppm未満)のもの

別表2-1 魚介類のPCB調査結果

(平成8年度)

番号	規制値	種類	P C B (ppm)				出荷地
			件数	最大	最小	平均	
1	0.5ppm	アオリイカ	1	ND	ND	—	長崎
2		アカガレイ	2	ND	ND	—	北海道
3		アカシタビラメ	1	ND	ND	—	長崎
4		アトランティックサーモン	2	0.04	0.02	0.03	ノルウェー
5		アラ	1	ND	ND	—	ニュージーランド
6		アンコウ	1	ND	ND	—	北海道
7		イシガレイ	1	ND	ND	—	千葉
8		カツオ	5	0.01	ND	0.01	宮城、千葉他
9		カラスガレイ	1	0.01	0.01	0.01	ロシア
10		カラフトマス	1	ND	ND	—	青森
11		キチジ	4	0.06	ND	0.02	北海道
12		キハダマグロ	1	ND	ND	—	福島
13		キングサーモン	1	0.02	0.02	0.02	カナダ
14		ギンダラ	2	0.03	0.01	0.02	アメリカ、アラスカ
15		キンメダイ	5	0.16	ND	0.06	高知、鹿児島
16		クロカジキ	1	ND	ND	—	グアム
17		クロマグロ	1	ND	ND	—	ギリシャ
18		ケガニ	1	ND	ND	—	北海道
19		ケンサキイカ	2	ND	ND	—	山口、福岡
20		サバ	3	0.05	ND	0.02	ノルウェー、佐賀
21		サヨリ	1	0.04	0.04	0.04	神奈川
22		サンマ	2	0.02	ND	0.01	岩手、北海道
23		シイラ	1	ND	ND	—	島根
24		シルバー	2	ND	ND	—	ニュージーランド
25		シロアマダイ	1	ND	ND	—	香港
26		シロザケ	3	0.01	ND	ND	北海道、岩手他
27		スケトウダラ	1	ND	ND	—	北海道
28		スルメイカ	6	ND	ND	—	岩手、高知他
29		ソデイカ	1	ND	ND	—	石川
30		タブガレイ	1	0.01	0.01	0.01	オランダ
31		トビウオ	1	ND	ND	—	三重
32		ナメタガレイ	2	0.02	0.01	0.02	茨城、山口
33		ニシン	2	0.05	0.04	0.05	アイスランド、ノルウェー
34		ハタハタ	1	0.01	0.01	0.01	北海道
35		ヒラメ	5	0.01	ND	ND	大分、メキシコ
36		ベニザケ	1	ND	ND	—	アラスカ
37		マイワシ	9	0.11	ND	0.03	千葉、神奈川他
38		マガレイ	2	ND	ND	—	福島、北海道
39		マコガレイ	3	0.02	ND	0.01	千葉
40		マサバ	9	0.02	ND	0.01	福岡、神奈川
41		マダラ	3	ND	ND	—	北海道
42		マナガツオ	2	0.01	ND	0.01	インド
43		ミンククジラ	1	ND	ND	—	南氷洋
44		メイタガレイ	1	0.01	0.01	0.01	千葉
45		メジマグロ	2	0.01	ND	0.01	岩手、千葉
46		メダイ	3	0.02	ND	0.01	長崎、東京他
47		メヌケ	1	ND	ND	—	東京
48		メバチマグロ	2	0.01	0.01	0.01	宮城、千葉
49		メロ	4	0.02	ND	0.01	チリ
50		モンゴウイカ	1	ND	ND	—	モロッコ
51		ヤナギムシガレイ	1	ND	ND	—	福島
52		ヤリイカ	2	ND	ND	—	三重、福井
53		ヨロイイタチウオ	1	ND	ND	—	長崎
小		計	115	0.16	ND	0.01	

別表 2-2 魚介類の P C B 調査結果

(平成 8 年度)

番号	規制値	種類	P C B (ppm)				出荷地
			件数	最大	最小	平均	
1	3.0ppm 内 海 湾 産 魚 介 類	アイナメ	15	0.03	ND	0.01	岩手、福島他
2		アオダイ	2	ND	ND	—	鹿児島、東京
3		アカアマダイ	2	ND	ND	—	長崎、福岡
4		アカガイ	1	ND	ND	—	宮城
5		アカヤガラ	1	ND	ND	—	宮城
6		アサリ	21	0.02	ND	ND	東京、愛知他
7		アマエビ	1	ND	ND	—	アイスランド
8		アマゴ	2	ND	ND	—	三重、千葉
9		アユ	4	ND	ND	—	和歌山、徳島
10		アワビ	2	ND	ND	—	岩手、オーストラリア
11		イイダコ	2	ND	ND	—	茨城、兵庫
12		イサキ	6	0.01	ND	ND	愛知、高知他
13		イシモチ	3	0.07	0.01	0.03	長崎、愛媛
14		イセエビ	1	ND	ND	—	東京
15		イトヨリダイ	5	ND	ND	—	長崎、香港
16		イボダイ	3	0.02	ND	0.01	宮城、神奈川
17		イワガキ	1	0.01	0.01	0.01	福岡
18		イワナ	1	ND	ND	—	静岡
19		ウスメバル	5	0.01	ND	ND	山形、青森他
20		ウナギ	4	0.03	ND	0.02	静岡、愛知
21		ウバガイ	2	ND	ND	—	北海道、福島
22		エゾボラ	1	ND	ND	—	北海道
23		オコゼ	1	ND	ND	—	長崎
24		カキ	8	0.06	ND	0.02	三重、広島他
25		カサゴ	2	ND	ND	—	静岡、大分
26		カタクチイワシ	1	0.04	0.04	0.04	千葉
27		カマス	3	0.02	ND	0.01	鹿児島、長崎他
28		カワエビ	1	ND	ND	—	茨城
29		カワハギ	2	ND	ND	—	三重、宮城
30		カンパチ	7	0.05	ND	0.02	香川、愛媛他
31		キダイ	1	ND	ND	—	東京
32		ギンボ	1	ND	ND	—	静岡
33		クロダイ	1	0.03	0.03	0.03	長崎
34		クロムツ	3	0.01	ND	ND	宮崎、長崎
35		コイ	2	ND	ND	—	群馬
36		コウイカ	1	ND	ND	—	鹿児島
37		ゴウシュウマダイ	1	ND	ND	—	ニュージーランド
38		コノシロ	1	0.01	0.01	0.01	佐賀
39		サザエ	1	0.01	0.01	0.01	長崎
40		サワラ	2	0.01	0.01	0.01	長崎、中国
41		シジミ	4	0.10	0.02	0.07	東京、島根
42		シバエビ	1	ND	ND	—	佐賀
43		シマアジ	5	0.03	0.01	0.02	香川、三重他
44		シマシロダイ	1	ND	ND	—	インドネシア
45		シマフグ	1	ND	ND	—	徳島
46		ショウサイフグ	1	ND	ND	—	秋田
47		シラウオ	1	ND	ND	—	茨城
48		シロギス	1	0.04	0.04	0.04	千葉
49		シロミルガイ	1	ND	ND	—	愛知
50		スズキ	53	0.43	ND	0.13	東京、福島他
51		タイラギ	2	0.01	ND	0.01	韓国
52		タカベ	3	0.01	ND	0.01	東京、愛媛他



別表 2 - 3 魚介類の P C B 調査結果

(平成 8 年度)

番号	規制値	種類	P C B (ppm)				出荷地
			件数	最大	最小	平均	
53	3.0ppm	タチウオ	2	0.10	0.01	0.06	和歌山、神奈川
54		チダイ	3	0.01	ND	ND	鹿児島、千葉
55		トラフグ	3	ND	ND	—	三重、山口他
56		トリガイ	1	ND	ND	—	三重
57		ナマコ	2	0.02	ND	0.01	兵庫、新潟
58		ナマズ	1	0.02	0.02	0.02	和歌山
59		ナマコ	1	ND	ND	—	兵庫
60		バカガイ	1	ND	ND	—	千葉
61		バテイラ	1	ND	ND	—	千葉
62		ハマグリ	2	ND	ND	—	茨城、三重
63		ハマダイ	2	0.01	ND	0.01	東京、トンガ
64		ハモ	2	0.05	ND	0.03	鹿児島、中国
65		ヒラサワラ	1	0.03	0.03	0.03	香港
66		ブリ(ワカシ)	1	ND	ND	—	千葉
67		ブリ(イナダ)	2	0.07	0.03	0.05	千葉、福岡
68		ブリ(ハマチ)	5	0.07	0.01	0.03	香川、三重
69		ブリ(ワラサ)	1	0.04	0.04	0.04	福岡
70		ブリ	3	0.02	0.01	0.02	鹿児島、千葉他
71		ハウボウ	4	0.01	ND	ND	千葉、ニュージーランド
72		ホタテガイ	12	ND	ND	—	岩手、宮城
73		ホヤ	2	ND	ND	—	宮城
74		ボラ	1	0.02	0.02	0.02	千葉
75		マアジ	11	0.02	ND	0.01	佐賀、鹿児島他
76		マゴチ	1	ND	ND	—	静岡
77		マアナゴ	2	0.01	0.01	0.01	千葉、長崎
78		マゴチ	1	ND	ND	—	静岡
79		マダイ	7	0.04	ND	0.01	三重、兵庫他
80		マトウダイ	1	ND	ND	—	ニュージーランド
81	マハゼ	1	ND	ND	—	茨城	
82	マハタ	2	0.01	ND	0.01	大分	
83	マフグ	1	0.01	0.01	0.01	青森	
84	ムラサキイガイ	9	0.01	ND	ND	宮城	
85	メゴチ	2	ND	ND	—	茨城、神奈川	
86	ヤマメ	3	ND	ND	—	岩手、岐阜他	
87	ユメカサゴ	1	ND	ND	—	愛媛	
88	ワカサギ	2	ND	ND	—	北海道	
小計			295	0.43	ND	0.03	
魚介類計			410	0.43	ND	0.03	
食品等計			222	0.63	ND	ND	表 3
総計			632	0.63	ND	0.02	

別表3-1 魚介類のT B T O調査結果

(平成8年度)

番号	種	種類	T B T O				出荷地
			検体数	検出値(ppm)			
				最大	最小	平均	
1	I 魚網又は いすけを 使用して 養殖され る魚介類 群	アマゴ	2	ND	ND	—	三重、千葉
2		アユ	1	ND	ND	—	和歌山
3		イワナ	1	ND	ND	—	静岡
4		ウナギ	1	ND	ND	—	静岡
5		カンパチ	4	0.04	ND	0.01	三重、香川他
6		ギンザケ	1	0.05	0.05	0.05	宮城
7		クルマエビ	1	ND	ND	—	沖縄
8		コイ	1	ND	ND	—	群馬
9		シマアジ	4	0.16	0.02	0.09	香川、三重
10		スズキ	2	0.16	0.06	0.11	愛媛
11		トラフグ	2	0.29	0.06	0.18	三重、長崎
12		ナマズ	1	ND	ND	—	和歌山
13		ヒラメ	2	0.01	ND	ND	大分、愛知
14		ブリ(ハマチ)	5	0.03	0.03	0.03	香川、三重
15		ブリ	1	0.01	0.01	0.01	鹿児島
16		マダイ	5	0.10	0.03	0.06	三重、兵庫
17		ヤマメ	1	ND	ND	—	岩手
小計			35	0.29	ND	0.05	
1	II 内湾で養 殖される 魚介類 群	カキ	9	0.32	ND	0.08	岩手、広島他
2		ハマグリ	2	0.03	ND	0.02	茨城、三重
3		ホタテガイ	14	0.10	ND	0.05	岩手、宮城
小計			25	0.32	ND	0.06	
1	III 内湾で漁 獲される 魚介類 群	アイナメ	11	0.02	ND	ND	福島、岩手他
2		アカアマダイ	2	ND	ND	—	長崎、福岡
3		アカガイ	1	0.02	0.02	0.02	宮城
4		アカガレイ	2	ND	ND	—	北海道
5		アカシタビラメ	1	ND	ND	—	長崎
6		アカヤガラ	1	0.01	0.01	0.01	宮崎
7		アサリ	20	0.44	ND	0.06	東京、愛知他
8		アマエビ	1	ND	ND	—	アイスランド
9		アワビ	1	ND	ND	—	岩手
10		イイダコ	2	0.21	ND	0.11	茨城、兵庫
11		イサキ	4	0.09	ND	0.03	静岡、愛媛他
12		イシガレイ	1	ND	ND	—	千葉
13		イシモチ	3	0.06	0.01	0.03	長崎、愛媛
14		イセエビ	1	ND	ND	—	和歌山
15		イボダイ	2	0.03	0.01	0.02	宮城、千葉
16		イワガキ	1	0.07	0.07	0.07	福岡
17		ウスメバル	6	0.01	ND	ND	青森、秋田他
18		ウバガイ	1	0.01	0.01	0.01	北海道
19		エゾボラ	1	0.09	0.09	0.09	北海道
20		オコゼ	1	ND	ND	—	長崎
21		カキ	3	0.02	ND	0.01	東京
22		カサゴ	1	0.01	0.01	0.01	大分
23		カタクチイワシ	1	ND	ND	—	千葉
24		カワハギ	2	0.01	ND	ND	宮崎、三重
25		ギンポ	1	0.02	0.02	0.02	静岡
26		キメンダイ	5	0.01	ND	ND	高知、鹿児島

別表3-2 魚介類のT B T O調査結果

(平成8年度)

番号	種	種類	T B T O				出荷地
			検体数	検出値(ppm)			
				最大	最小	平均	
27	Ⅲ 内湾で漁 獲される 魚介類 群	クロダイ	1	ND	ND	—	新潟
28		クロムツ	2	0.01	ND	ND	宮崎、長崎
29		コノシロ	1	0.03	0.03	0.03	佐賀
30		サザエ	1	ND	ND	—	韓国
31		サヨリ	1	ND	ND	—	神奈川
32		シジミ	4	0.01	ND	ND	東京、島根
33		シマアジ	1	ND	ND	—	神奈川
34		シマエビ	1	ND	ND	—	石川
35		ショウサイフグ	1	0.02	0.02	0.02	秋田
36		シロギス	1	0.01	0.01	0.01	愛知
37		シロミルガイ	1	ND	ND	—	愛知
38		スズキ	48	0.12	ND	0.04	千葉、東京他
39		タイラギ	2	0.01	ND	ND	韓国
40		タカベ	3	0.01	ND	ND	東京、愛媛
41		チダイ	2	ND	ND	—	宮城、三重
42		トコブシ	2	ND	ND	—	宮城、三重
43		トリガイ	1	0.02	0.02	0.02	三重
44		ナマコ	1	0.01	0.01	0.01	兵庫
45		ナメタガレイ	2	ND	ND	—	茨城、山口
46		バカガイ	1	0.02	0.02	0.02	千葉
47		ハウボウ	1	ND	ND	—	千葉
48		ボタンエビ	1	0.01	0.01	0.01	北海道
49		ホヤ	2	0.01	ND	ND	宮城
50		ボラ	1	ND	ND	—	千葉
51		マアジ	10	0.01	ND	ND	鹿児島、佐賀
52		マアナゴ	2	0.04	0.02	0.03	長崎、千葉
53		マイワシ	9	0.25	0.25	0.01	千葉
54		マガレイ	2	ND	ND	—	福島、北海道
55		マコガレイ	3	0.02	0.01	0.01	千葉
56		マサバ	5	0.06	0.01	0.03	福岡、静岡
57		マダイ	2	0.03	0.01	0.02	三重
58		マダコ	1	0.06	0.06	0.06	福島
59		マハゼ	1	ND	ND	—	茨城
60		ムラサキイガイ	9	0.05	ND	0.01	宮城
61		メイタガレイ	1	ND	ND	—	千葉
62	メゴチ	1	ND	ND	—	茨城	
63	メダイ	3	0.01	ND	ND	千葉	
64	ヤナギムシガレイ	1	ND	ND	—	福島	
65	ユメカサゴ	1	ND	ND	—	愛媛	
小計			209	0.44	ND	0.02	
1	Ⅳ 市場流通 の多い魚 介類 群	アオリイカ	1	ND	ND	—	長崎
2		アカウオ	1	ND	ND	—	アイスランド
3		アトランティックサーモン	1	ND	ND	—	ノルウェー
4		アラ	1	ND	ND	—	ニュージーランド
5		アンコウ	1	ND	ND	—	北海道
6		イトヨリダイ	5	0.01	ND	0.01	長崎、香港
7		カツオ	4	0.02	ND	ND	千葉、東京
8		カマス	2	0.04	0.03	0.04	鹿児島、和歌山
9		カラフトマス	1	ND	ND	—	青森
10		カンパチ	3	0.24	0.02	0.09	愛媛、岩手

別表 3 - 3 魚介類の T B T O 調査結果

(平成 8 年度)

番号	種	種類	T B T O				出荷地	
			検体数	検出値(ppm)				
				最大	最小	平均		
11	IV	キチジ	2	ND	ND	—	北海道	
12		キハダマグロ	1	ND	ND	—	福島	
13		ギンダラ	2	ND	ND	—	アメリカ、アラスカ	
14		クロカジキ	1	0.01	0.01	0.01	グアム	
15		クロマグロ	1	0.07	0.07	0.07	ギリシャ	
16		ケンサキイカ	1	0.01	0.01	0.01	山口	
17		サバ	1	ND	ND	—	ノルウェー	
18		サワラ	2	0.02	ND	0.01	中国、長崎	
19		サンマ	1	ND	ND	—	北海道	
20		シイラ	1	0.02	0.02	0.02	愛媛	
21		シマシロダイ	1	ND	ND	—	インドネシア	
22		シラウオ	1	0.01	0.01	0.01	茨城	
23		シルバー	1	ND	ND	—	ニュージーランド	
24		シロアマダイ	1	ND	ND	—	香港	
25		シロザケ	1	0.02	0.02	0.02	チリ	
26		スケトウダラ	1	0.01	0.01	0.01	北海道	
27		スルメイカ	5	0.03	ND	0.01	青森、千葉他	
28		タチウオ	2	0.14	ND	0.07	神奈川、和歌山	
29		市場流通	タブガレイ	1	ND	ND	—	オランダ
30			トラバガニ	1	ND	ND	—	アラスカ
31			トビウオ	1	0.01	0.01	0.01	三重
32			トラフグ	1	ND	ND	—	山口
33		の多い魚	ニシン	2	ND	ND	—	アイスランド、ノルウェー
34			ハタハタ	1	0.02	0.02	0.02	北海道
35			ハマダイ	1	ND	ND	—	トンガ
36			ヒラサワラ	1	0.01	0.01	0.01	香港
37		介類	ヒラメ	4	0.02	ND	ND	茨城、メキシコ
38			フナ	1	ND	ND	—	茨城
39			ブリ(ワカシ)	1	0.01	0.01	0.01	岩手
40			ブリ(イナダ)	2	0.01	0.01	0.01	千葉、茨城
41			ブリ(ワラサ)	1	0.01	0.01	0.01	福岡
42			ブリ	2	0.06	0.02	0.04	千葉、長崎
43		群	マカジキ	1	0.01	0.01	0.01	和歌山
44			マダラ	3	ND	ND	—	北海道
45			マトウダイ	1	ND	ND	—	ニュージーランド
46			マナガツオ	1	ND	ND	—	インド
47			マハタ	2	0.04	0.03	0.04	大分
48			マフグ	1	0.03	0.03	0.03	青森
49			ミンククジラ	1	0.01	0.01	0.01	南氷洋
50			メジマグロ	1	0.07	0.07	0.07	千葉
51			メバチマグロ	1	ND	ND	—	千葉
52			メロ	2	ND	ND	—	チリ
53			モンゴウイカ	1	ND	ND	—	モロッコ
54			ヤリイカ	1	ND	ND	—	三重
55			ヨリイタチウオ	1	ND	ND	—	長崎
56			ワカサギ	3	ND	ND	—	青森、北海道
小計			86	0.24	ND	0.01		
総計			355	0.44	ND	0.03		

注) NDは、検出限界値未満(0.01ppm未満)のもの

#### 4 野菜類に含有される硝酸根等の実態調査結果

##### (1) 調査目的

野菜類に含有される硝酸根及び亜硝酸根は発癌性物質であるニトロソ化合物の生成に関係があるといわれており、消費者等の関心が高い。特に硝酸根が野菜類に多く含まれることは、近年の化学肥料の多用傾向に大きな原因があるのではないかとの疑問が一部で持たれている。

そこで、都においては、昭和51年度から野菜類の硝酸根等の含有量調査を実施し、その実態を把握してきた。

##### (2) 実施期間

平成8年4月1日から平成9年3月31日まで

##### (3) 実施対象

中央卸売市場に入荷する野菜類

##### (4) 調査内容

野菜類の可食部について検査した。

##### (5) 検査項目

硝酸根、亜硝酸根

##### (6) 検査機関

市場衛生検査所

##### (7) 実施規模

15種類、64検体の野菜を春、夏、秋、冬の年4回に分けて買上げ、検査した。(別表1)

##### (8) 実施結果

###### ア 硝酸根

硝酸根の含有量は、野菜の種類により差があり、葉茎菜類では比較的多く、仁果類、柑橘類、め類では少ない傾向を示した。

また、同一種類の野菜でも数値のばらつきが認められた。産地(土壌)、収穫時期(季節)、収穫からサンプリングまでの時間などの影響によるものと考えられる。(別表2)

###### イ 亜硝酸根

亜硝酸根を検出したものはなかった。

別表1 実施規模

種 類		実 施 回 数					産 地 数					検 体 数				
		春	夏	秋	冬	計	春	夏	秋	冬	計	春	夏	秋	冬	計
柑 橘 類	キ ヨ ミ	1	-	-	-	1	2	-	-	-	2	4	-	-	-	4
	デ コ ボ ン	-	-	-	1	1	-	-	-	2	2	-	-	-	4	4
	ハ ッ サ ク	-	-	-	1	1	-	-	-	2	2	-	-	-	4	4
	計	1	-	-	2	3	2	-	-	4	6	4	-	-	8	12
め 類	ウ メ	-	1	-	-	1	-	2	-	-	2	-	4	-	-	4
	計	-	1	-	-	1	-	2	-	-	2	-	4	-	-	4
果 実 的 野 菜	ス イ カ	-	1	-	-	1	-	2	-	-	2	-	4	-	-	4
	メ ロ ン	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	-	4	-	4
	計	-	1	1	-	2	-	2	2	-	4	-	4	4	-	8
仁 果 類	カ キ	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	-	4	-	4
	ビ ワ	1	-	-	-	1	2	-	-	-	2	4	-	-	-	4
	計	1	-	1	-	2	2	-	2	-	4	4	-	4	-	8
葉 茎 菜 類	アスパラガス	-	1	-	-	1	-	2	-	-	2	-	4	-	-	4
	コマツナ	-	-	1	-	1	-	-	2	-	2	-	-	4	-	4
	サラダナ	-	1	-	-	1	-	2	-	-	2	-	4	-	-	4
	シュンギク	-	-	-	1	1	-	-	-	2	2	-	-	-	4	4
	パセリ	-	-	-	1	1	-	-	-	2	2	-	-	-	4	4
	フキ	1	-	-	-	1	2	-	-	-	2	4	-	-	-	4
	ホウレンソウ	1	-	1	-	2	2	-	2	-	4	4	-	-	-	4
	計	2	2	2	2	8	4	4	4	4	16	8	8	8	8	32
総 計	4	4	4	4	16	8	8	8	8	32	16	16	16	16	64	

別表2 硝酸根

種 類			検査件数	検出件数	最大値* ~ (平均)* ~ 最小値*
1	柑 橘 類	キ ヨ ミ	4	1	39 ~ ( 39.0 ) ~ 39
2		デ コ ボ ン	4	0	—————
3		ハ ッ サ ク	4	2	15 ~ ( 11.0 ) ~ 7
4	め類	ウ メ	4	4	28 ~ ( 14.0 ) ~ 19
5	果野 実 的菜	ス イ カ	4	4	68 ~ ( 47.8 ) ~ 29
6		メ ロ ン	4	4	440 ~ ( 255.5 ) ~ 110
7	仁 果 類	カ キ	4	1	38 ~ ( 38.0 ) ~ 38
8		ビ ワ	4	1	20 ~ ( 20.0 ) ~ 20
9	葉  茎  菜 類	アスパラガス	4	2	61 ~ ( 46.5 ) ~ 32
10		コ マ ツ ナ	4	4	4900 ~ ( 3925.0 ) ~ 3300
11		サ ラ ダ ナ	4	4	4000 ~ ( 3000.0 ) ~ 2100
12		シュンギク	4	4	3300 ~ ( 2550.0 ) ~ 2000
13		パ セ リ	4	4	3700 ~ ( 1882.5 ) ~ 100
14		フ キ	4	4	940 ~ ( 601.0 ) ~ 317
15		ホウレンソウ	8	8	4000 ~ ( 2397.5 ) ~ 980

\* : 最大値・最小値・平均は検出検体のみ (単位 : ppm )

## 第10節 修学旅行時の食中毒等事故発生防止のための事前連絡件数

### 1 旅館及び宿泊所

#### (1) 月別学校数及び延利用人員数

区分	平成 8 年									平成 9 年			合 計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
学校数	73	285	177	22	11	59	154	92	4	27	18	9	931
延利用人員数	6,472	38,150	29,211	3,483	475	4,819	15,478	9,850	731	4,991	3,942	1,351	118,953

#### (2) 依頼通知先件数

区分	平成 8 年									平成 9 年			合 計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
合 計	73	285	177	22	11	59	154	92	4	27	18	9	931
千代田	7	21	5	—	—	1	4	3	—	—	1	—	42
中央	1	24	11	—	3	5	3	—	—	—	—	—	47
港	8	41	36	2	1	8	35	20	2	8	8	2	171
新宿	11	45	42	7	—	18	20	11	1	9	5	3	172
文京	17	60	43	3	—	16	71	49	1	7	2	2	271
台東	2	7	5	1	—	—	3	—	—	—	—	—	18
墨田	2	1	1	1	1	—	—	2	—	—	—	—	8
江東	3	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	5
品川	1	6	6	—	—	—	2	1	—	—	—	1	17
目黒	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
大田	1	13	6	—	—	—	2	2	—	—	—	—	24
渋谷	2	12	6	1	—	—	2	1	—	—	—	—	24
杉並	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
豊島	15	36	12	3	—	5	6	3	—	3	2	—	85
北	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
練馬	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
江戸川	2	13	3	1	—	4	4	—	—	—	—	1	28
多摩	1	2	1	1	2	2	—	—	—	—	—	—	9
島しょ	—	—	—	2	3	—	1	—	—	—	—	—	6



## 2 食事及び弁当調製所

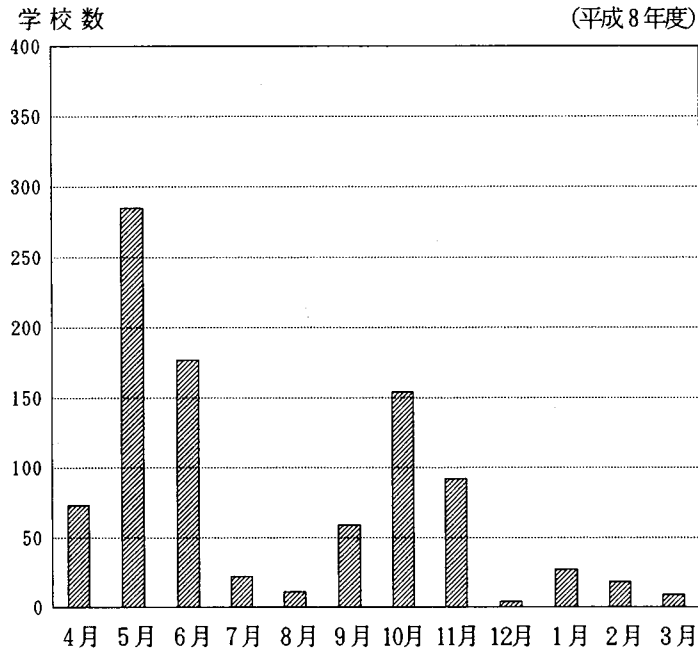
### (1) 月別学校数及び延利用人員数

区分	平成 8 年									平成 9 年			合 計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
学校数	118	378	245	9	4	54	197	105	12	1	3	20	1,146
延利用 人員数	12,224	52,818	39,199	2,258	357	4,800	24,411	13,231	2,037	135	598	2,345	154,413

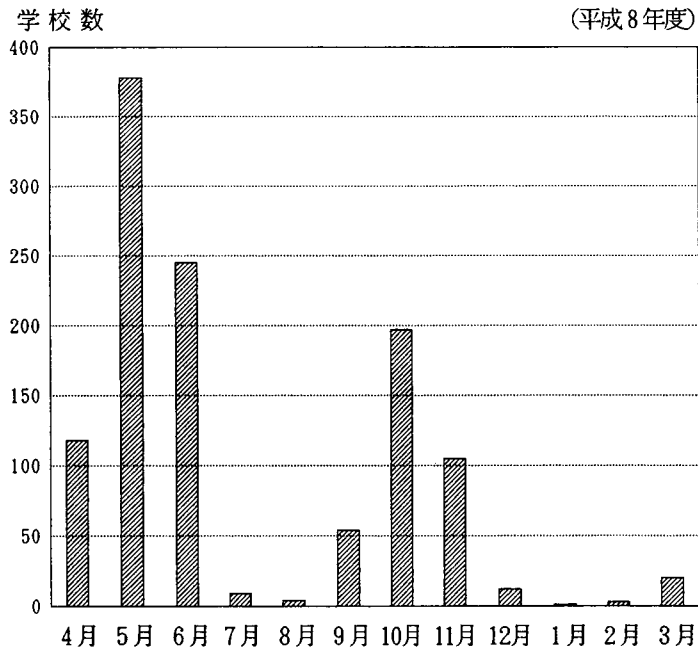
### (2) 依頼通知先件数

区分	平成 8 年									平成 9 年			合 計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
合 計	118	378	245	9	4	54	197	105	12	1	3	20	1,146
千代田	2	7	3	-	-	-	6	-	-	-	-	-	18
中央	4	3	1	-	-	1	2	1	2	-	-	1	15
港	18	53	28	-	-	14	21	18	1	-	3	3	159
新宿	-	2	-	-	-	1	2	-	-	-	-	1	6
文京	6	26	9	-	-	3	1	-	-	-	-	2	47
台東	27	75	27	2	1	5	29	22	-	-	-	3	191
墨田	31	90	90	3	1	7	58	30	1	-	-	6	317
江東	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	4
品川	21	67	34	3	-	8	27	8	2	1	-	3	174
大田	2	6	6	-	-	3	8	4	2	-	-	-	31
世田谷	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
渋谷	5	18	16	-	-	2	9	3	1	-	-	1	55
豊島	2	4	6	-	-	2	7	3	1	-	-	-	25
板橋	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
練馬	-	12	4	-	-	5	3	1	-	-	-	-	25
江戸川	-	14	19	-	-	1	23	15	2	-	-	-	74
多摩	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
島しょ	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1

月別旅館及び宿泊所利用学校数推移



月別食事及び弁当調製所利用学校数推移



## 第11節 特殊事業

### 1 野菜・青果物の細菌及び寄生虫卵等の検査結果

昭和30年頃まで、国内の野菜類はし尿を肥料として栽培されていたため、寄生虫卵や経口伝染病菌等に伝染されることが多かった。その後、化学肥料の使用など栽培方法の変化もあり、寄生虫卵による汚染は大幅に減少した。

しかし、最近、農薬や化学肥料を使用しない「無農薬野菜」、「有機栽培野菜」の流通が増大する傾向にあり、再び野菜の寄生虫卵による汚染が懸念される。

また、国内とは栽培方法の異なる輸入野菜も増加している。

こうしたことから、野菜類の細菌と寄生虫等の検査を実施した。

#### (1) 実施者

食品機動監視班

#### (2) 実施期間

平成8年4月から平成9年3月まで

#### (3) 検査対象及び検体数

ア 輸入野菜類 78品目

イ 国産野菜類 43品目

#### (4) 実施対象施設

大規模販売業及び卸売市場

#### (5) 検査項目

ア 細菌検査 細菌数、大腸菌群、大腸菌、黄色ブドウ球菌、サルモネラ、セレウス菌

イ 寄生虫卵等検査 寄生虫卵、線虫、節足動物、昆虫、ダニ

#### (6) 検査機関

ア 細菌検査 都立衛生研究所細菌第一研究科食品細菌研究室

イ 寄生虫卵等検査 都立衛生研究所細菌第二研究科細菌寄生虫研究室

#### (7) 検査結果

表1-1から表2-2のとおり。

表1-1 輸入野菜類の寄生虫卵等検査結果

(平成8年度)

項目 品目	検体数	寄生虫卵		節足動物		節足動物陽性の内訳		
		陰性	陽性	陰性	陽性	ダニ卵	ダニ幼生	昆虫幼生
アスパラガス	9	9	-	8	1	1	1	-
エシャロット	3	3	-	2	1	1	-	-
エンダイブ	1	1	-	1	-	-	-	-
おくら	3	3	-	1	2	2	-	-
かぼちゃ	5	5	-	5	-	-	-	-
きぬさや	3	3	-	3	-	-	-	-
ごぼう	1	1	-	1	-	-	-	-
さといも	1	1	-	1	-	-	-	1
しいたけ	5	5	-	5	-	-	-	-
しょうが	1	1	-	1	-	-	-	-
たけのこ	2	2	-	2	-	-	-	-
たまねぎ	4	4	-	4	-	-	-	-
チェリートマト	1	1	-	1	-	-	-	-
チコリ	3	3	-	3	-	-	-	-
トマト	1	1	-	-	-	-	-	-
トレビス	4	4	-	4	-	-	-	-
にんじん	2	2	-	2	-	-	-	-
にんにく	3	3	-	3	1	1	1	-
にんにくの芽	3	3	-	3	-	-	-	-
パプリカ	3	3	-	3	-	-	-	-
ブロッコリー	10	10	-	9	-	-	-	-
ベビーコーン	2	2	-	2	-	-	-	-
ラディッシュ	1	1	-	1	-	-	-	-
リーキ	1	1	-	1	-	-	-	-
わさび	1	1	-	1	-	-	-	-
れんこん	1	1	-	-	-	-	-	-
合計	74	74	0	67	5	5	2	1

表1-2 国産野菜類の寄生虫卵等検査結果

(平成8年度)

項目 品目	検体数	寄生虫卵		節足動物		節足動物陽性の内訳			
		陰性	陽性	陰性	陽性	ダニ卵	ダニ幼生	昆虫卵	昆虫幼生
おくら	1	1	-	1	-	-	-	-	-
きゅうり	1	1	-	1	-	-	-	-	-
こまつな	7	7	-	5	2	1	-	-	2
食用きく	1	1	-	1	-	-	-	-	-
トマト	2	2	-	2	-	-	-	-	-
にんじん	4	4	-	2	2	-	-	-	2
ピーマン	8	8	-	8	-	-	-	-	-
ほうれんそう	8	8	-	5	3	2	-	1	3
マッシュルーム	1	1	-	1	-	-	-	-	-
レタス	6	6	-	4	2	2	-	-	1
わさび	1	1	-	-	1	1	-	-	-
合計	40	40	0	30	10	6	0	1	8

表2-1 輸入野菜類の細菌検査結果

(平成8年度)

項目	検体数	細菌数 (／g)								大腸菌群 (／g)							大腸菌		黄色ブドウ球菌		サルモネラ		セレウス菌		
		< 10	≤ 10 <sup>2</sup>	≤ 10 <sup>3</sup>	≤ 10 <sup>4</sup>	≤ 10 <sup>5</sup>	≤ 10 <sup>6</sup>	≤ 10 <sup>7</sup>	≤ 10 <sup>8</sup>	—	< 10	≤ 10 <sup>2</sup>	≤ 10 <sup>3</sup>	≤ 10 <sup>4</sup>	≤ 10 <sup>5</sup>	≤ 10 <sup>6</sup>	≤ 10 <sup>7</sup>	-	+	-	+	-	+	-	+
アスパラガス	8	-	1	-	2	1	1	2	1	2	2	-	1	2	-	1	-	7	1	8	0	8	0	7	1
いちご	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
エシャロット	3	-	-	-	-	1	2	-	-	2	1	-	-	-	-	-	3	0	3	0	3	0	3	0	
エンダイブ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
おくら	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	2	2	1	3	0	3	0	2	1	
かぼちゃ	7	-	-	2	4	-	-	1	-	5	1	-	-	-	1	-	7	0	7	0	7	0	6	1	
きぬさや	3	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	1	-	-	1	-	2	1	3	0	3	0	1	2	
ごぼう	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	0	1	1	0	1	0	0	1	
さといも	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	0	1	0	1	0	0	1	
しいたけ	5	1	-	2	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	5	0	5	0	5	0	5	0	
セルリアック	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	1	2	0	2	0	2	0	2	0	
たけのこ	2	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	0	2	0	2	0	2	0	
たまねぎ	4	1	-	1	-	1	1	-	-	3	-	-	-	1	-	-	4	0	4	0	4	0	4	0	
チェリートマト	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	1	0	0	1	
チコリ	3	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	2	1	-	3	0	3	0	3	0	3	0	
とうもろこし	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
トマト	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
トレビス	4	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	1	1	2	-	4	0	4	0	4	0	4	0	
にんじん	2	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	2	0	2	0	2	0	2	0	
にんにく	3	-	-	2	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-	3	0	3	0	3	0	3	0	
にんにくの芽	3	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	1	-	1	3	0	3	0	3	0	3	0	
パブリカ	3	-	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	3	0	3	0	3	0	3	1	
ブロッコリー	10	-	-	1	1	2	3	2	1	1	3	2	2	-	2	-	10	0	10	0	10	0	10	0	
ベビーコーン	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	0	2	2	0	2	0	2	0	
ラディッシュ	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
リーキ	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
わさび	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
れんこん	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
合計	78	2	2	13	9	15	12	14	11	30	9	4	4	8	9	9	5	72	6	78	0	78	0	69	9

表2-2 国産野菜類の細菌検査結果

(平成8年度)

項目	検体数	細菌数 (／g)								大腸菌群 (／g)							大腸菌		黄色ブドウ球菌		サルモネラ		セレウス菌		
		< 10	≤ 10 <sup>2</sup>	≤ 10 <sup>3</sup>	≤ 10 <sup>4</sup>	≤ 10 <sup>5</sup>	≤ 10 <sup>6</sup>	≤ 10 <sup>7</sup>	≤ 10 <sup>8</sup>	—	< 10	≤ 10 <sup>2</sup>	≤ 10 <sup>3</sup>	≤ 10 <sup>4</sup>	≤ 10 <sup>5</sup>	≤ 10 <sup>6</sup>	≤ 10 <sup>7</sup>	-	+	-	+	-	+	-	+
おくら	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
きゅうり	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
こまつな	7	-	-	-	-	2	1	4	-	1	1	3	1	-	1	-	7	0	7	0	7	0	1	6	
食用きく	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
トマト	2	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	0	2	0	2	0	2	0	
にんじん	4	-	-	-	-	1	3	-	-	1	1	2	-	-	-	-	4	0	4	0	4	0	0	4	
ピーマン	8	-	-	-	1	5	1	1	-	3	2	-	3	-	-	-	8	0	8	0	8	0	7	1	
ほうれんそう	8	-	-	-	-	2	4	2	-	-	-	1	3	2	2	-	8	0	8	0	8	0	1	7	
マッシュルーム	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
もも	3	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	0	3	0	3	0	3	0	
レタス	6	-	-	-	-	-	2	4	-	1	-	-	3	1	1	-	6	0	6	0	6	0	4	2	
わさび	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
合計	43	3	2	0	1	11	14	11	1	13	4	6	11	4	5	0	0	43	0	43	0	43	0	23	20

## 2 学校給食用牛乳及び食品の検査結果

### (1) 学校給食用牛乳の検査

都内の小学校及び中学校の給食で提供されている学校給食用牛乳の安全性を確保するため、教育庁と協力して抜き取り検査を実施している。

#### ア 検査内容

乳及び乳製品の成分規格等に関する省令に基づく成分規格及び抗生物質の検査

#### イ 実施規模

学校給食用牛乳を供給する9社12工場が搬入する牛乳について、平成8年5月から平成9年3月まで、8回にわけ合計248検体について実施した。

#### ウ 検査機関

都立衛生研究所生活科学部及び多摩支所

#### エ 実施結果

表1のとおり、食品衛生法に違反したものはなかった。

### (2) 学校給食用食品の検査

都内の小学校及び中学校の給食で提供されている学校給食の安全性を確保するため、教育庁と協力して検査を実施している。

#### ア 検査内容

細菌検査及び食品添加物等の化学検査について実施した。

#### イ 実施規模

学校給食で使用される原材料及び製品（冷凍食品、ジャム、調味料等）、合計14検体

#### ウ 検査機関

都立衛生研究所生活科学部

#### エ 実施結果

表1のとおり、食品衛生法に違反したものはなかった。

## 3 災害救助用食品の検査

福祉局の依頼により、災害救助用乾パンとアルファ米の納品の際の中間検査（製造所への立入り検査及び製品の抜き取り検査）を実施しているほか、保管中の乾パン及びアルファ米の検査を実施した。

### (1) 検査内容

製造施設・設備、製造工程・取扱い等のチェック及び福祉局が定めた「中間検査時における品質基準」に基づく製品等の検査（細菌検査、化学検査及び容器包装の検査）

### (2) 実施規模

製品及び合成樹脂製包装フィルム合計57検体

### (3) 検査機関

都立衛生研究所微生物部及び生活科学部

### (4) 実施結果

製造施設への立入り検査では特に異常はなく、また、製品等の検査結果は「中間検査時における品質基準」に適合していた。

表1 学校給食用食品及び災害救助用食品の検査

(平成8年度)

	分類	検体数	適	検査 項目数	主な検査項目
	総数	325	325	1,165	
学校 給 食 用 食 品	牛乳	248	248	868	成分規格、抗生物質
	乳製品	9	9	18	成分規格
	食肉・魚介類	2	2	13	成分規格、細菌検査
	調味料・ジャム類	9	9	29	化学検査（保存料、着色料等）
災害 救 助 用 食 品	乾パン	9	9	36	細菌検査 化学検査（水分活性等）
	アルファ米及び具材	44	44	189	細菌検査 化学検査（水分活性等）
	包装材料	4	4	12	規格試験（一般規格、個別規格等）